

令和4年度活動報告

港北区では、平成17年7月28日に「港北AAA（安全で安心な明日を）作戦会議」を設立して以来、年に1回活動報告・計画の発表など、情報交換の場として会議を開催し、格付けに例えるなら「AAAクラス」の安心を区内の皆さまにお届けできることを目標としているところです。

令和4年度は、次の5つの作戦を展開しました。依然として件数が多く、手口が多様化している特殊詐欺被害を減らしていくために、作戦1の「特殊詐欺撲滅作戦」に加え、イベント開催等を見込んで、作戦5「犯罪に強く快適なまちづくり」にも重点的に取り組みました。

その結果、港北区の令和4年の年間犯罪件数は1,426件、令和3年の1,215件と比較して211件、約17.4%の増（8ページ参照）となりました。令和4年の振り込み詐欺等特殊詐欺の発生件数は105件（被害額約1億8,532万円）、令和3年の58件（同約1億4,345万円）と比較すると、オレオレ詐欺・還付金詐欺の増加が影響し、件数は47件増、被害額も約4,187万円増となりました（2ページ参照）。

作戦1	特殊詐欺撲滅作戦
作戦2	地域の防犯活動の取組の充実
作戦3	地域と学校が連携した防犯活動の取組
作戦4	情報提供の充実
作戦5	犯罪に強く快適なまちづくり

1 特殊詐欺撲滅作戦

（1）地域・企業団体への取組

役所の職員等をかたり、「還付金があります。」などと言い、無人ATMに誘導し、操作させて、犯人の口座に預貯金を振り込ませる還付金詐欺や、インターネット閲覧者にウイルスが感染したかのような嘘の警告画面を見せて、偽のサポート窓口で電話させ、修理費用等として料金支払いを要求する架空請求詐欺が急増したことから、管内における金融機関、コンビニエンスストア、商業施設等の事業者及び関係団体等と連携し、「ATMでの携帯電話の通話は、しない、させない」ことを社会常識として定着させるべく、あらゆる機会を通じて広報啓発活動を推進し、被害防止に努めました。

(2) 情報発信、キャンペーンの実施について

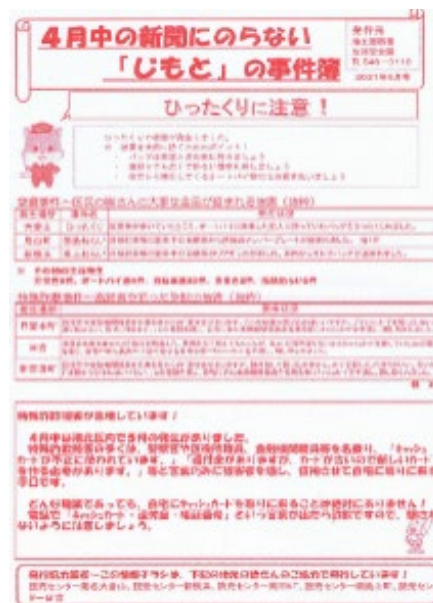
特殊詐欺の発生状況や手口に関し、チラシの配布のほか、防犯情報メール等での情報発信を行いました。加えて、管内に所在する読売センター5店舗に協力を依頼し、月に1度『新聞にのらない「じもと」の事件簿』を折り込んでもらう体制を確立しました。

また、横浜芸術高等専修学校協力のもと、特殊詐欺被害防止ポスターを作成し、駅や商業施設などに掲示し、キャンペーンを通じて配布しました。

(参考) 横浜デジタル
アート専門学校
盗撮防止ポスター



(参考) 新聞に
のらない「じも
と」の事件簿



【港北区内特殊詐欺発生状況】 ※5年分は暫定値

		特 殊 詐 欺						合 計
		オレオレ	預貯金	架空請求	還付金	キャッシュカード 手交型	その他 (融資保 証金等)	
5年 1 月～ 4月	件数	12件	4件	13件	14件	2件	2件	47件
	金額	約2,000 万円	76万円	5,868万 円	約1,583 万円	約70万円	368万円	約9,965 万円
4年 1月 ～12 月	件数	34件	3件	4件	54件	9件	1件	105件
	金額	約9,757 万円	約180万 円	約272万 円	約6,350 万円	約1,273 万円	700万円	約1億 8,532万 円
3年 1月 ～12 月	件数	17件	13件	3件	9件	16件	0件	58件
	金額	約5,438 万円	約1,437 万円	約4,930 万円	約957万 円	約1,583 万円	0万円	約1億 4,345万 円

2 地域の防犯活動の取組の充実

(1) 防犯教室の開催

新型コロナウイルスの情勢を注視しつつ、感染拡大防止措置を講じたうえで、少人数かつ短時間での防犯講話を実施するとともに、ホームページや新聞の折り込み等を活用し、犯罪防止のための情報発信を強化しました。

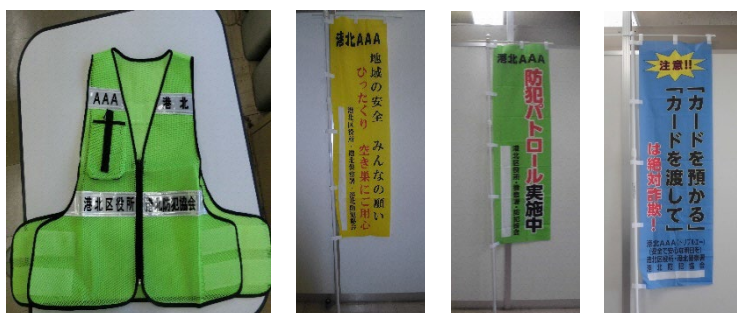
(2) 港北区安全・安心のつどい

港北公会堂において、防犯功労者の表彰や地域での防犯活動報告を行い、各種表彰等を実施しました。

(3) 港北防犯協会（自治会町内会）等各活動団体の取組

港北警察署と協力し、港北 FBI（振り込め詐欺・撲滅・インストラクター）の活動に取り組みました。加えて、各種防犯キャンペーンや自治会町内会の自主的な防犯活動、防犯指導員等によるパトロールを実施し犯罪抑止に努めたほか、各自治会町内会へ防犯啓発のぼり旗や防犯ベストを配付し活動支援を行いました。

また、無人 ATM で特殊詐欺防止の声掛けを行う「振り込め詐欺防止ボランティア声掛け隊」を、地域の方々の協力を得て実施し、被害抑止に努めました。



防犯ベスト・のぼり旗

(4) 商店街

商店街の防犯機能を強化し、地域の安全安心づくりを推進するため、街路灯の維持管理及び定期的な防犯パトロールを区内 19 商店会で実施しました。



大倉山エルム通り商店会街

(5) 企業団体の取組

ア 港北企業防犯協会

会員企業への情報発信として、「港北区内の犯罪発生状況」（毎月）、「港北企業防犯協会だより」（12月）を発行し、防犯意識の向上に努めました。

また、各支部で港北企業防犯協会車を青色回転灯パトロール車として防犯広報を実施し、犯罪抑止に努めました。

イ 横浜建設業協会港北区会

会員企業の各事業所において横浜建設業協会オリジナルの「子ども 110 番」のステッカーを掲出するとともに、地域の防犯活動として「青色防犯パトロール」登録車によるパトロールを毎月 4 回実施しました。

ウ 港北区宅建防犯協会

安全安心な街づくり推進のため、港北防犯協会と連携し青色防犯パトロール講習を実施する予定でしたが新型コロナウイルス感染症防止のため、パトロールは中止となりました。

また、例年開催している合同演習会も同様の理由で中止になりました。

(6) 防犯拠点の活動

大倉山地区防犯連絡協議会により運営されている太尾防犯拠点センターは、毎日 10 時から 18 時まで開館しており、防犯情報の発信や防犯活動を実施し、青色防犯パトロール拠点として種々の活動を行いました。

今年度からの重要な取組として、青少年部会として、環境健全化を目指すべく、同拠点にて「小・中学校校長、PTA 会長、地域の防犯に関係した役員」のメンバーによる定期的な検討会で活動を推進しており、今後も継続していきます。



太尾防犯拠点センター

3 地域と学校が連携した防犯活動の取組

(1) 「子ども 110 番の家」ネットワーク会議の開催

9～10 月に「子ども 110 番の家」ネットワーク会議を書面にて開催しました。令和 4 年度の活動報告のほか、前年度（zoom 開催）の討論内容を共有し、アンケートにて意見交換・情報交換を行いました。

また、令和元年度より、港北区宅建防犯協会の会員 274 店舗が「子ども 110 番の家」として参加しています。

※子ども 110 番の家登録者数 3,151 件（令和 4 年 9 月時点）



「子ども 110 番の家」プレート

(2) 地域の子どもの見守り活動の支援

平成 18 年 3 月から本格的に始まった港北区老人クラブ連合会の通学路見守り事業を引き続き実施しました。

(3) よこはま学援隊の活動

「よこはま学援隊」は、15 団体が学校の安全管理及び学校内、通学路における安全見守りを行い、安全・安心な学校づくりを推進しました。

【特例型】……1 日 2 時間以上の活動を実施

師岡小学校・高田東小学校・太尾小学校・
大豆戸小学校

【一般型】……1 日 30 分以上の活動をおおむね週 1 日
以上継続

大綱小学校・綱島小学校・新田小学校・高田小学校・
駒林小学校・日吉南小学校・綱島東小学校
新羽小学校・北綱島小学校・菊名小学校・港北小学校

(4) その他

少年補導員や防犯指導員の見守り活動、消防自動車や港北土木事務所のパトロールカーのほか、防犯協会、企業防犯協会、警親会、区役所、太尾防犯拠点センターの青色パトロールカーが、児童・生徒の下校時間に合わせて巡回を行いました。

4 情報提供の充実

(1) 区役所ホームページ、ツイッターなどによる情報提供

特殊詐欺が発生した場合は、区役所ホームページに情報を掲載し、注意喚起を行いました。また、特殊詐欺の前兆電話があったという情報が複数区役所に寄せられた場合には、「詐欺警報」として、防犯情報メール及び港北区ツイッターで注意喚起を行いました。加えて、広報よこはまにて、特殊詐欺防止コラム等を掲載し、情報提供を行いました。



広報よこはま港北区版
10月号

(2) 港北防犯情報メールの発信

港北区を、綱島・日吉などの繁華街型の北部地区、密集した住宅地が多い東部地区、工場も抱える郊外型住宅地の西部地区、新横浜を中心とした企業等と協働する南部地区の 4 エリアに分け、エリアごとの犯罪発生情報を、防犯情報メール登録者のメールと F A X に発信しました。

加えて、特殊詐欺の前兆電話があったという情報や、区役所職員等を騙る不審者情報が区民から区役所に複数寄せられた際に、「詐欺警報」として即時に注意喚起の防犯情報メールを配信しました。

(メール・FAX受信者：11,569人 前年比+319人)

(令和5年3月末時点)

5 犯罪に強く快適なまちづくり

(1) 放置・盗難自転車対策

自転車盗難や、その原因となる放置自転車の減少に向け、自転車放置防止監視員の配置や自転車等放置防止推進協議会の活動を実施しました。

区内の放置禁止区域内に「自転車等放置防止監視員」を配置し、駐輪場への誘導等の啓発活動を行いました。また、日吉駅、綱島駅、新横浜駅では集中的に監視員を配置し、自転車マナーアップの呼びかけ等の啓発活動を行いました。

令和4年10月1日～10月31日には、各自転車等放置防止推進協議会が中心となり、首都圏放置自転車・バイククリーンキャンペーンを実施し、主に放置自転車を対象として、放置自転車防止パトロールや警告札の貼付等を行いました。

令和4年度の放置自転車台数は、前年と比べて増加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比べると減少となりました。

放置自転車台数※			盗難自転車台数		
令和3年	令和4年	増減率	令和3年1月～12月	令和4年1月～12月	増減率
214台	330台	約35% 増	278台	334台	約20.1% 増

※放置自転車台数は「横浜市内鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」による
(道路局実施)

※令和4年分盗難自転車台数は暫定値

(2) LED防犯灯の設置

平成21年度から、自治会町内会所有の防犯灯について、蛍光灯からLED灯へと順次切り替えを行ってきました。平成26年度までに9,344灯の切り替えを行い、平成26年度からは主に「新設」工事を行っています。令和元年度末時点では、東電柱とNTT柱に共架している多くの蛍光灯の防犯灯がLED防犯灯に切り替わっています。

令和4年度は、区内において、27灯のLED防犯灯を新設しました。

(3) 地域防犯カメラ設置の補助

令和3年度に引き続き、神奈川県と横浜市とが連携して、自治会町内会等が地域に設置する防犯カメラの設置費用の一部の補助を行い、令和4年度においては、区内で4台の防犯カメラについて補助を行いました。

また、県・市による補助とは別に、「港北区防犯カメラ設置合同委員会」を中心に、「港北安心・安全コミュニティー創生協議会」と「港北防犯協会」が連携して、地域に設置する防犯カメラの設置の支援を行い、令和4年度には目標の100台設置を達成することが出来ました。最終的に、令和4年度までで区内には104台の防犯カメラが設置されました。

港北区の犯罪発生状況

(1) 刑法犯認知・検挙件数

	認知件数				検挙件数			
	令和4年 (1月～12月)	令和3年 (1月～12月)	前年増減		令和4年 (1月～12月)	令和3年 (1月～12月)	前年増減	
			件数	率(%)			件数	率(%)
総数	1426	1215	+211	+17.4%	611	483	+128	+26.5%
凶悪犯	11	12	-1	-8.3%	8	9	-1	-11.1%
粗暴犯	99	90	+9	+10.0%	78	64	+14	+21.9%
窃盗犯	971	883	+88	+10.0%	420	320	+100	+31.3%
知能犯	149	85	+64	+75.3%	27	18	+9	+50.0%
風俗犯	25	16	+9	+56.3%	15	16	-1	-6.3%
その他	171	129	+42	+32.6%	63	56	+7	+12.5%

(2) 窃盗犯認知・検挙件数

		認知件数				検挙件数			
		令和4年 (1月～12月)	令和3年 (1月～12月)	前年増減		令和4年 (1月～12月)	令和3年 (1月～12月)	前年増減	
				件数	率(%)			件数	率(%)
侵入盗	空き巣	39	22	+17	+77.3%	16	45	-29	-64.4%
	事務所荒し	5	0	+5	---	2	1	+1	+100.0%
	その他	17	40	-23	-57.5%	47	40	+7	+17.5%
非侵入盗	自動車盗	2	7	-5	-71.4%	27	18	+9	+50.0%
	オートバイ盗	20	33	-13	-39.4%	3	1	+2	+200.0%
	自転車盗	334	278	+56	+20.1%	32	30	+2	+6.7%
	車上狙い	44	34	+10	+29.4%	37	11	+26	+236.4%
	ひったくり	4	6	-2	-33.3%	1	0	+1	---
	屋引き	56	29	+27	+93.1%	13	10	+3	+30.0%
	万引き	207	178	+29	+16.3%	117	82	+35	+42.7%
	その他	243	256	-13	-5.1%	125	82	+43	+52.4%

特殊詐欺発生状況 (令和4年1月～12月)

神奈川県内	港北区内
2089件(前年比 +628件)	105件(前年比 +47件)
約43億4700万円(前年比 +17億6300万円)	約1億8532万円(前年比 +4187万円)

港北警察署からの連絡

特殊詐欺被害

	令和4年	令和3年	増減比
総数	105件	58件	+47件
還付金	54件	9件	+45件
オレオレ	34件	17件	+17件
キャッシュカード 詐欺盗	9件	16件	-7件
その他	8件	16件	-8件

還付金
詐欺が
急増して
います！



区役所から還付金の連絡をすることは絶対にありません！
ATM + 還付金 = サギ！！

(参考)

港北区内の火災・救急状況について

港北AAA作戦会議
令和5年6月16日
港北消防署

火災情報

令和4年12月31日(土)現在

港北区内				
火災発生状況				
年別	令和4年	令和3年	増△減	
件数	61	52	9	
火災種別	建物	41	34	7
	林野	0	0	0
	車両	7	2	5
	船舶	0	0	0
	航空機	0	0	0
	その他	13	16	△3
損害	焼損床面積	350	1,056	△706
	死者	3	4	△1
	焼死等	3	4	△1
	放火自殺	0	0	0
負傷者	6	10	△4	

横浜市内				
火災発生状況				
年別	令和4年	令和3年	増△減	
件数	638	698	△60	
火災種別	建物	415	463	△48
	林野	0	0	0
	車両	67	56	11
	船舶	0	2	△2
	航空機	0	0	0
	その他	156	177	△21
損害	焼損床面積	4,733	8,795	△4,062
	死者	14	21	△7
	焼死等	12	20	△8
	放火自殺	2	1	1
負傷者	88	110	△22	

主な出火原因				
年別	令和4年	令和3年	増△減	
1	電気機器	10	4	6
2	たばこ	8	8	0
3	こんろ	6	10	△4
4	配線器具	5	1	4
5	放火(疑い含む)	4	10	△6

主な出火原因				
年別	令和4年	令和3年	増△減	
1	たばこ	101	102	△1
2	放火(疑い含む)	93	122	△29
3	電気機器	69	52	17
4	こんろ	67	103	△36
5	配線器具	31	25	6

港北区連合町内会別火災発生状況	
合計	61
日吉地区連合町内会	13
綱島地区連合自治会	6
大曽根自治連合会	1
樽町連合町内会	4
菊名地区連合町内会	7
師岡地区連合町内会	4
大倉山地区連合町会	5
篠原地区連合自治会	6
城郷地区連合町内会	5
新羽町連合町内会	5
新吉田連合町内会	3
新吉田あすなろ連合町内会	0
高田町連合町内会	2
その他	0

行政区別火災発生状況			
年別	令和4年	令和3年	増△減
合計	638	698	△60
鶴見	52	54	△2
神奈川	41	37	4
西	34	35	△1
中	53	84	△31
南	28	42	△14
港南	38	46	△8
保土ヶ谷	36	35	1
旭	40	41	△1
磯子	23	31	△8
金沢	21	36	△15
港北	61	52	9
緑	32	25	7
青葉	32	40	△8
都筑	28	34	△6
戸塚	63	37	26
栄	20	16	4
泉	21	30	△9
瀬谷	15	23	△8

消防団分団担当地区別火災発生状況	
合計	61
第一分団	5
第二分団	8
第三分団	14
第四分団	11
第五分団	13
第六分団	5
第七分団	5

※本年数値は速報値であり、確定値ではありません。



救急情報

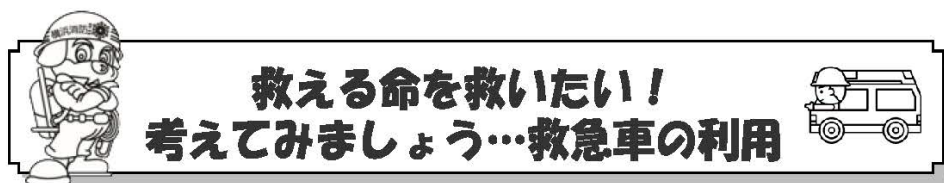
令和4年12月31日(土)現在

港北区内救急状況			
年 別	令和4年	令和3年	増△減
件 数	19,614	16,498	3,116
急 病	14,108	11,528	2,580
一般負傷	3,352	2,900	452
交通事故	664	681	△ 17
その他	1,490	1,389	101

横浜市内救急状況			
年 別	令和4年	令和3年	増△減
件 数	244,086	204,427	39,659
急 病	174,210	140,967	33,243
一般負傷	42,755	37,404	5,351
交通事故	8,980	8,833	147
その他	18,141	17,223	918

行政区別救急状況			
年 別	令和4年	令和3年	増△減
鶴見	18,193	15,124	3,069
神奈川	15,247	13,113	2,134
西	10,039	7,984	2,055
中	17,591	15,374	2,217
南	15,269	12,799	2,470
港南	14,484	11,806	2,678
保土ヶ谷	13,354	11,306	2,048
旭	16,039	13,660	2,379
磯子	11,184	9,173	2,011
金沢	12,849	11,187	1,662
港北	19,614	16,498	3,116
緑	10,746	9,224	1,522
青葉	15,005	12,329	2,676
都筑	10,453	8,432	2,021
戸塚	17,855	15,055	2,800
栄	7,698	6,358	1,340
泉	10,042	8,147	1,895
瀬谷	8,378	6,811	1,567
市外	46	47	△ 1

※本年数値は速報値であり、確定値ではありません。



2022年度全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心

令和5年度活動計画（案）

今年度の目標は、作戦1から作戦5までを行います。依然として件数が多く、手口が多様化している特殊詐欺被害を減らしていくために、令和4年度に引き続き、作戦1の「特殊詐欺撲滅作戦」に加え、イベント開催等も見込まれるため、作戦5「犯罪に強く快適なまちづくり」にも重点的に取り組みます。

作戦1	特殊詐欺撲滅作戦
作戦2	地域の防犯活動の取組の充実
作戦3	地域と学校が連携した防犯活動の取組
作戦4	情報提供の充実
作戦5	犯罪に強く快適なまちづくり

1 特殊詐欺撲滅作戦

（1）地域・企業団体への取組

特殊詐欺について、あらゆる機会を通じて防犯講話や防犯啓発キャンペーンを実施することで、区民に対し日々増加する様々な手口を周知するほか、今年度も、昨年度に引き続き金融機関やコンビニエンスストアと連携し、ATMでの特殊詐欺防止啓発活動を地域の協力を得て実施し、自主防犯意識を高める被害抑止活動を強化していきます。

加えて、高齢者が相談できる環境づくりの体制確立に向け、高齢者と接する機会の多い事業者や関係団体と連携を強化して、特殊詐欺被害抑制に努めます。

（2）情報発信、キャンペーンの実施について

昨年度と比較し、特殊詐欺被害が増加傾向にあることから、全国交通安全キャンペーン等のあらゆる機会を捉えて、被害状況や手口に関するチラシの配布のほか、防犯情報メール等での情報発信、防犯講話、詐欺啓発キャンペーンの実施等、引き続き様々な方法で注意喚起を図り、被害抑止活動を強化していきます。

また、「特殊詐欺防止対策」として、「港北安心・安全コミュニティー創生協議会」と「港北防犯協会」が連携し、固定電話へ取り付ける特殊詐欺対策機器等の設置補助について行政や警察とともに検討します。

2 地域の防犯活動の取組の充実

(1) 防犯教室等の開催

新型コロナウイルスの情勢を注視しつつ、感染拡大防止措置を講じたうえで、少人数かつ短時間での防犯講話を実施するとともに、ホームページや新聞の折り込み等を活用し、犯罪抑止のための情報発信活動を強化していきます。

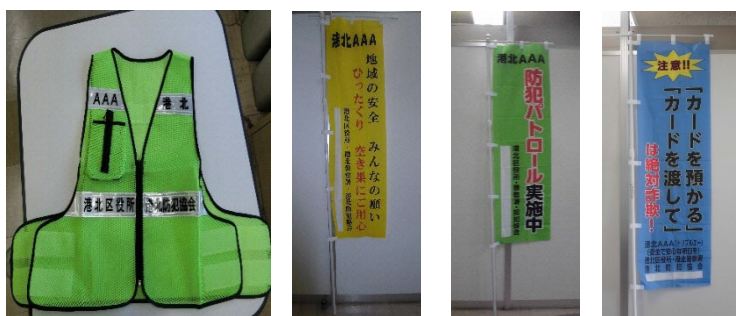
(2) 港北区安全・安心のつどいの開催

12月4日（月）に、港北公会堂において、防犯功労者の表彰や講習会を実施する予定であり、区民の更なる防犯意識の向上に努めます。

(3) 自治会町内会の取組

港北警察署や港北区役所等と協力し、あらゆる機会を通じての情報発信活動、各種防犯キャンペーンや防犯指導員等によるパトロール、自治会町内会へ防犯啓発のぼり旗や防犯ベストを配付するなど、自主防犯活動の支援を引き続き実施し、犯罪抑止活動に努めていきます。

また、防犯協会車を青色回転灯パトロール車として防犯広報を徹底し、犯罪抑止活動の強化に努めていきます。



防犯ベスト・のぼり旗

(4) 港北防犯協会や港北安心・安全コミュニティー創生協議会等の各活動団体の取組

防犯協会車を青色回転灯パトロール車として防犯広報を徹底し、犯罪抑止活動の強化に努めていきます。

また、「特殊詐欺防止対策」として、「港北安心・安全コミュニティー創生協議会」と「港北防犯協会」が連携し、固定電話へ取り付ける特殊詐欺対策機器等の設置補助について、行政や警察とともに検討します。【再掲】

(5) 商店街

今年度も、区内の商店街が「横浜市安心・安全な商店街づくり事業」を通して、商店街の防犯機能を強化し、地域の安全安心づくりを推進します。

また、商店街の防犯機能を強化し、地域の安全安心づくりを推進するため、街路灯の維持管理及び定期的な防犯パトロールを引き続き実施します。

(6) 企業団体の取組

ア 港北企業防犯協会

会員企業への情報発信、青色防犯パトロール登録者によるパトロールを引き続き行い防犯意識の向上に努め、また、港北警察署と協力してキャンペーンを実施するなど、犯罪抑止活動の強化に努めていきます。

イ 横浜建設業協会港北区会

今後も会員企業の「青色防犯パトロール」登録車によるパトロール等を実施するとともに、各事業所において防犯意識を高めながら、地域の防犯活動の強化に努めます。

ウ 港北宅建防犯協会

港北区オリジナルの「子ども 110 番の家」プレートの店頭掲出の徹底を行うとともに、各事業所の車両に防犯ステッカーを貼付し、防犯パトロールを実施します。また、引き続き警察と協力し、地域での防犯講習会、啓発活動を行います。今年度につきましては、新横浜地区での講習会・キャンペーンを行います。

(7) 防犯拠点の活動

大倉山地区の太尾防犯拠点センターは、毎日 10 時から 18 時まで開館し、みんなの居場所としての機能を発揮しながら、地区防犯活動の拠点として情報の収集と発信を行っていきます。具体的には警察関係者等を招いての防犯会議や、地区青少年部会による地域防犯システムづくりの推進等、防犯に関する地域の実情に定着した活動を行っていきます。また青色防犯パトロール車の発着拠点として活動します。

3 地域と学校が連携した防犯活動の取組

(1) 港北区「子ども 110 番の家」ネットワークの充実

今年度も、「子ども 110 番の家」登録者に対し、「子ども 110 番の家」プレートの配付を行うほか、9 月に開催予定の「子ども 110 番の家」ネットワーク会議を通して、港北区「子ども 110 番の家」実行委員会への情報共有・支援の充実を図ります。

(2) 地域の子どもの見守り活動の支援

平成 18 年 3 月から本格的に始まった港北区老人クラブ連合会の「通学路見守りたい事業」は、地域や学校と連携しながら、区老人クラブ連合会の重要な活動として引き続き行っています。

(3) よこはま学援隊

学校の安全管理及び学校内、通学路における安全見守りを行い、安全・安心な学校づくりを推進します。

(4) その他

少年補導員や防犯指導員の見守り、消防自動車のパトロールカーのほか、防犯協会、企業防犯協会、警親会、区役所、太尾防犯拠点センターの青色パトロールカーが巡回を行います。

4 情報提供の充実

(1) 区役所ホームページ、港北区ツイッターなどによる情報提供

今年度も、区内での犯罪発生状況や防犯に役立つ情報に加え、特殊詐欺等、新たな手口への注意喚起を、青色回転灯装着車による区内パトロールでアナウンスするほか、区ホームページや港北区ツイッター、防犯情報メールを利用し、迅速に情報を発信します。

また、特殊詐欺情報を筆頭として、港北AAA作戦会議についての情報や地域での防犯の取組など、より分かりやすく内容を充実させることで、より広範な周知と啓発に取り組みます。

(2) 港北防犯情報メールの発信

引き続き、警察と区役所の連携のもとに、東西南北4つのエリアごとの犯罪情報を、メール、FAXで発信します。

(メール・FAX受信者：11,592人、令和5年5月末現在)

今年度も、「安全で安心な港北」の実現により役立つ情報を提供できるよう、犯罪・防犯の情報に加えて、特殊詐欺の前兆電話や緊急性・事件性のある事案などの情報を発信します。

5 犯罪に強く快適なまちづくり

(1) 放置・盗難自転車対策

区全体の放置台数が減少傾向となっているため、今年度も放置自転車の防止やマナーアップ等を図る放置自転車監視員の配置数を減らします。一方で、放置台数の多い日吉駅、綱島駅及び新横浜駅については、引き続き集中的な監視員配置を維持するとともに休日も含め道路局が撤去を実施します。なお、3駅以外の駅については、各駅の放置状況に応じて実施します。

区内で活動している自転車等放置防止推進協議会では放置自転車クリーンキャンペーンなどを実施し、放置自転車の減少に向けて活動していきます。

「窃盗（自転車盗）」は、昨年比べて件数が大幅に増加しています。自転車盗の原因ともなる放置自転車を減らすことにより、犯罪の少ない快適なまちづくりを目指します。

【参考】～港北区内自転車盗発生状況～ ※数値は暫定値

令和5年1月～4月	109件（27件/月）
令和4年1月～4月	78件（19件/月）

（2）LED防犯灯の設置

老朽化した防犯灯の更新を実施します。また、自治会町内会からの申請に基づき、今年度は電柱へのLED防犯灯の新設を市内全域で約200灯を予定しています。

（3）地域防犯カメラ設置の補助

今年度も、神奈川県と横浜市とが連携して、自治会町内会等が地域に設置する防犯カメラの設置費用の一部の補助を行います。市内全域で150台（補助限度額：21万円）の補助交付を予定しています。

【「ピーガルくん子ども安全メール」について】

神奈川県警では、子どもを犯罪から守るための情報（不審者情報・ちかん・脅迫・暴行等・凶悪事件の発生・警察からのお知らせ等）を電子メールで携帯電話・パソコンにお送りするサービスを行っています。

記載のQRコードから登録手続きが行えます。

その他の詳細は、神奈川県警のホームページを御確認下さい。

